

平成28年度災害廃棄物処理計画策定 モデル事業の結果概要

平成29年 7 月28日

近畿地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課

モデル事業の対象地域・実施項目

1 災害廃棄物処理計画策定モデル事業 . . . 3地域

「災害廃棄物処理計画」を策定する予定がある地域をモデル地域として選定し、災害廃棄物発生量の推計や効果的な仮置場の運用等に係る調査・検討を通じて、府県、市町村、一部事務組合による災害時の廃棄物処理に着目した実効性の高い「災害廃棄物処理計画」の策定を支援する。

調査項目	大津市	京都府	豊中市・伊丹市・ 豊中市伊丹市クリーンランド*
災害廃棄物及びし尿の発生量の推計	●	●	●
仮置場の面積の推計及び仮置場の理想的な配置に係る検討	●	●	●
処理困難物（アスベスト、農薬、溶剤等）の取扱い	●		
廃棄物関連施設の防災対策等に係る情報の整理		●	
豊中市伊丹市クリーンランド等の被災に伴う影響の把握			●
ワーキンググループの開催及び意見交換	●	●	●

対象地域の特徴

①大津市は、市街地が細長い地形であることから、市内外の交通アクセスは悪く、大規模災害時には緊急車両の通行に大きな課題

②災害廃棄物の処理において、広域ではなく市単独で乗り切れる体制づくり、及び長期間の存置を念頭においた仮置場の整備を考慮する必要



①京都府は、総人口約264万人のうち半数以上(約56%)は京都市が占める一方、大半の市町村は10万人を満たさず、人口等密度の違いに特徴

②国定重要文化財が約2千件、その他にも様々な歴史的建造物等の多くが中心部に存在し、災害による倒壊時の取り扱いが課題



①豊中市及び伊丹市は、大阪府及び兵庫県の府県境に位置し、豊中市においては、ほぼ市街化されており、伊丹市は、三方を山地と丘陵に囲まれ、南が大阪湾に向けて開いた半盆地的な地形

②ごみ処理は、行政区域の異なる豊中市と伊丹市が共同で設置・運営している豊中市伊丹市クリーンランドで実施



事業結果の概要（計画策定：滋賀県大津市）

大津市廃棄物減量推進課・危機防災対策課と連携し、大津市の災害廃棄物処理体制を構築するため、災害廃棄物処理計画の策定を目指し、モデル事業を実施した。平成29年度末に災害廃棄物処理計画を策定予定。

モデル事業の対象

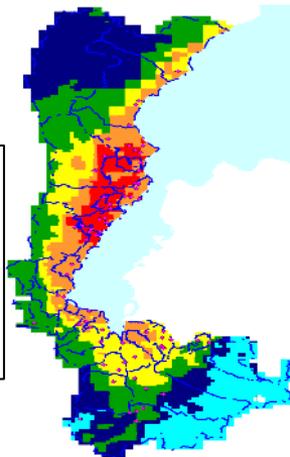
- 発生量（災害廃棄物・し尿）
- 仮置場面積
- 仮置場のレイアウト
- 処理困難廃棄物の取扱い

被害想定

- 対象とする地震
 - ・琵琶湖西岸断層帯地震（右図）
全壊棟数：約24,000棟
 - ・花折断層帯地震
全壊棟数：約16,000棟



琵琶湖西岸断層帯地震の震度分布



し尿・災害廃棄物の発生量の推計

【考え方】

し尿収集必要量 = 仮設トイレ必要人数 × し尿の1人1日平均排出量
 災害廃棄物発生量 = 1棟当たりの平均延床面積（平均延べ床面積）
 × 単位延床面積当たりの災害廃棄物発生量
 × 解体建築物の棟数（=全壊棟数）

【結果】

し尿：約2万L/日（花折断層帯地震）～約6万L/日（琵琶湖西岸断層帯地震）
 災害廃棄物：約146万トン（花折断層帯地震）
 ～約223万トン（琵琶湖西岸断層帯地震）
 （参考：滋賀県全体 約187万～約403万トン）

災害廃棄物の最大仮置量の試算

一次仮置場処理期間（準備期間含む）を(A)1.5年、(B)2年、(C)2.5年の3パターンで試算した災害廃棄物の仮置量は下表のとおり

一次仮置場・二次仮置場の最大仮置量

		パターン			備考	
		A	B	C		
被災現場	解体期間(年)	1.0	1.5	2.0	初期準備期間を含む	
	一次仮置場	処理期間(年)	1.5	2.0	2.5	初期準備期間を含む
		最大仮置量	38%	27%	21%	
二次仮置場	処理期間(年)	2.5	2.5	2.5	撤去等の期間を含む	
	最大仮置量	59%	38%	17%		

仮置場面積の試算

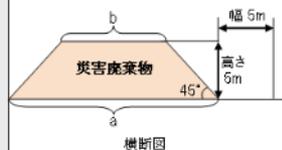
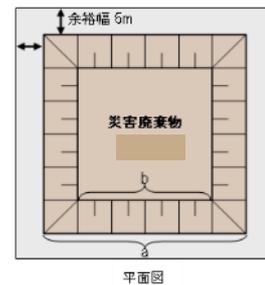
【試算方法】

(1) 一次仮置場必要面積

$$= (a + \text{①余裕幅})^2$$

- ① 余裕幅：5m
- ② 仮置量

$$= (a^2 + ab + b^2) \times 1/3 \times \text{高さ}$$
- ③ 仮置場高：5m
- ④ 法面勾配：1:1
- ⑤ 災害廃棄物等（混合状態）
 の見かけ比重：1.0トン/m³



一次仮置場面積試算の概念図

(2) 二次仮置場必要面積

仮設の混合物処理施設を設置して3年間での処理を想定し、災害廃棄物量から下表に基づいて必要なユニット面積を算出した

混合物処理施設のユニット面積と処理量

タイプ	ha/unit	処理量(t/日)	処理量平均(t/日)
固定式	4.0	300 ~1,200	750
移動式	4.5	140 ~570	355

出典：「第6回 大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会資料」

【試算結果】

環境省が示す方法（災害廃棄物対策指針技術資料に示される算出方法）による試算結果と、本モデル事業による試算結果*の比較は下表のとおり

*一次仮置場処理期間（準備期間含む）を(A)1.5年、(B)2年、(C)2.5年の3パターンで計算

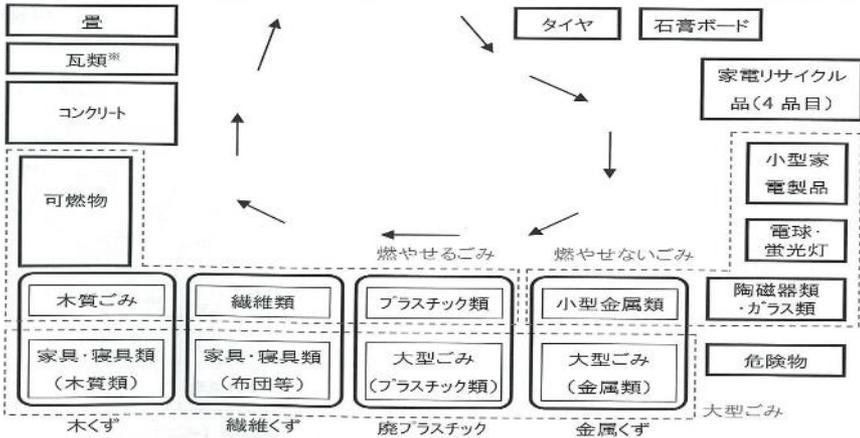
仮置場必要面積の試算結果

地震の種類	仮置場の種類	環境省が示す方法	仮置場必要面積の試算結果		
			A	B	C
琵琶湖西岸断層帯地震	一次仮置場	<u>76</u>	28	21	17
	二次仮置場(固定式)	-	<u>51</u>	37	24
			<u>71</u>	<u>57</u>	<u>43</u>
花折断層帯地震	一次仮置場	<u>50</u>	16	12	10
	二次仮置場(固定式)	-	35	26	17
			<u>47</u>	38	29

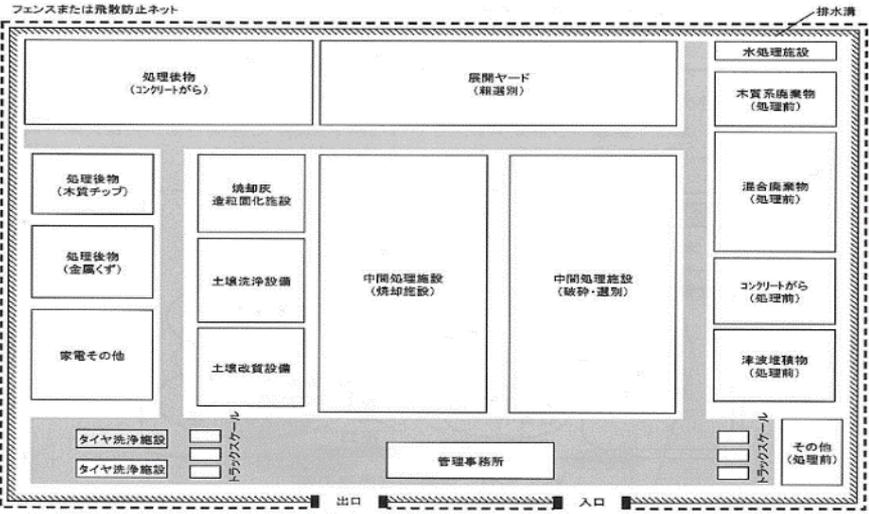
仮置場のレイアウト案

- ・仮置場に搬入される廃棄物の種類を想定
- ・平時のごみ分別区分を基本とする
- ・市外での搬出処理を考慮し、品目を細分化
- ・平時の処理対象外品目で災害時に発生するごみは新たに分別区分を設ける
- ・資源ごみは、平時のごみ収集体制で回収可能とし、レイアウトから外す

----- : 平時のごみ分別区分



一次仮置場レイアウト案



二次仮置場レイアウト案

処理困難物の取り扱い

- ・発生が想定される処理困難物(薬品類・PCB含有機器・腐敗性廃棄物・アスベスト・家電・自動車・漁具・漁網・船舶・消火器・ガスボンベ)について、保管・運搬・処理方法を取りまとめた

例：薬品類（毒物・劇物、有機溶剤等）・PCB含有機器

処理困難物の種類	薬品類(毒物・劇物、有機溶剤等)	PCB含有機器
主な発生源	・民間事業者(工場、商店、病院) ・公共施設 など	・民間事業者(工場、病院) ・公共施設 など
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・他のものと区別し、火気厳禁として取り扱う。 ・基本的に屋内保管とする。屋外の場合は防水性のビニールシートで全体(底面含む)を覆うことが望ましい。 ・有機溶剤は揮発性のものが多く引火しやすいため火気を避ける。 ・容器の破損(亀裂、ひび割れ、腐食、損傷等)の有無を確認し、流出の懸念がある場合は流出防止策を講じる。ただし、種類の異なるものは混合しないよう注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCB 特措法に基づく保管場所で保管する。 ・一時保管する際は屋内とする。 ・難しい場合は密閉性のある容器内で保管又はビニールシートで全体を覆う(底面を含む)等、PCB 廃棄物が飛散、流出、地下浸透等しないよう対策を行う。 ・破損や漏洩が見られる場合は、ドラム缶等の密閉性のある容器等に収納し、漏洩防止措置を講じる。
運搬	<ul style="list-style-type: none"> ・容器の破損、転倒に注意し、ドラム缶等に密閉して運搬する。 ・毒物・劇物の場合は、運搬時には毒物及び劇物取締法に基づく対応が必要であり、表示等が必要となる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・破損・漏れのある機器は、次のような漏洩防止措置を講じた上で運搬する。 ✓ 密閉性のある容器に収納 ✓ 防水性のビニールシート等で機器全体を包装 など
処理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ラベル等により内容物を確認する。 ・不明な場合は内容物を特定するための分析を行い、廃棄物処理業者に処理を委託する。 ・処理にあたっては、可能であれば消防署や保健所等、農業についてはJA や販売店、メーカー等に連絡し、対応や処理方法について確認する。 ・毒物・劇物の場合は、毒物及び劇物取締法にもとづいて対応する。保管時は管理者を定め保管庫に入れて施錠する等の対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCB 含有機器は所有者に引き渡すことを基本とするが、不明な場合は、濃度に応じて適切に処理する。PCB 含有の有無が不明な場合は、濃度確認のための試験を行う。 ・高濃度 PCB 廃棄物は中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)、低濃度 PCB 廃棄物は無害化処理認定施設や都道府県知事等許可施設で処理する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には発生元となる民間事業者で対応する。 ・毒物・劇物の種類によっては、有害ガスが発生するものがあるため、マスク等の保護具を着用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCB 特措法にもとづき、適切に取り扱う。 ・PCB 廃棄物が付着したものは、汚染物として分析後、濃度に応じて適切に処理する。

事業結果の概要 (計画策定：京都府)

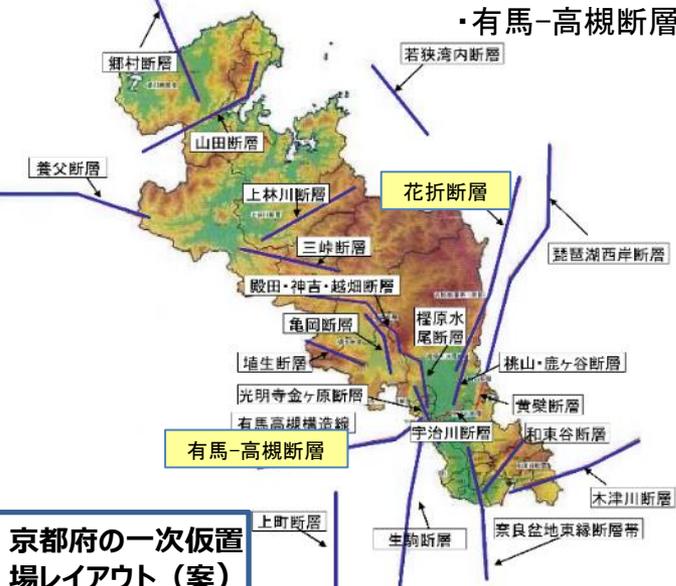
府内市町村と連携し、広域的で具体的な災害廃棄物処理計画の策定を推進する。平成29年度に着手し、平成30年度に災害廃棄物処理計画を策定予定。

モデル事業の対象

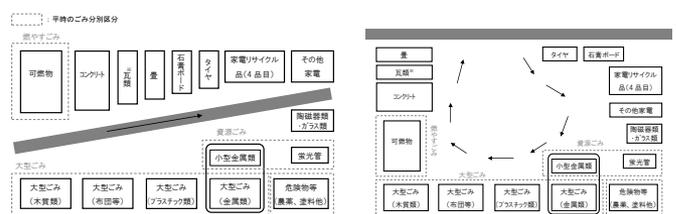
- 発生量(災害廃棄物・し尿)
- 仮置場面積
- 仮置場のレイアウト
- 廃棄物処理施設の防災対策

被害想定

対象とする地震
 ・花折断層帯地震
 ・有馬-高槻断層



京都府の一次仮置場レイアウト(案)



災害廃棄物及びし尿発生量の推定

花折断層帯

振興局区分	保健所区分	市町村名	災害廃棄物の組成別発生量(t)					災害廃棄物の組成別発生量(t)						
			可燃物	不燃物	コンクリートから	金属	柱角材	合計	可燃物	不燃物	コンクリートから	金属	柱角材	合計
京都市	京都市	京都市	2,690,344	3,463,162	8,138,372	1,033,727	806,745	16,132,350	209,842	338,224	667,056	84,794	62,893	1,362,810
中丹	中丹西	福知山市	3,631	3,631	10,488	1,331	1,089	20,170	835	835	2,413	306	251	4,640
中丹	中丹東	舞鶴市	5,508	5,508	15,912	2,020	1,652	30,600	1,046	1,046	3,021	393	314	5,810
中丹	中丹東	綾部市	3,717	3,717	10,738	1,363	1,115	20,850	794	794	2,293	291	238	4,410
山城	山城北	宇治市	241,873	285,846	719,584	91,376	72,541	1,411,220	251,177	297,678	747,661	94,942	75,332	1,466,790
丹後	丹後	宮津市	1,211	1,211	3,500	444	363	6,730	0	0	0	0	0	0
南丹	南丹	亀岡市	79,338	88,436	233,511	29,647	23,797	454,730	90,830	102,455	267,907	34,015	27,244	522,450
南丹	山城北	城陽市	99,370	123,125	298,327	37,889	29,800	598,510	144,560	175,897	432,468	54,922	43,353	851,200
山城	乙訓	向日市	90,080	103,727	266,700	33,864	27,018	521,390	101,100	117,274	299,733	38,059	30,323	586,490
山城	乙訓	長岡京市	98,175	122,436	295,116	37,481	29,441	582,650	186,105	231,089	558,956	70,990	55,811	1,102,950
山城	山城北	八幡市	60,059	66,124	178,379	22,393	18,015	342,970	139,813	178,227	422,110	53,614	41,926	835,690
山城	山城北	京田辺市	52,341	70,031	159,591	20,274	15,694	317,930	79,015	101,254	238,805	30,332	23,684	473,100
丹後	丹後	京丹波市	293	293	848	108	88	1,630	0	0	0	0	0	0
南丹	南丹	南丹市	37,859	37,859	109,372	13,882	11,358	210,330	19,145	19,145	55,307	7,020	5,743	106,360
山城	山城北	本蓮川市	116,995	53,174	116,995	14,865	11,396	234,440	39,019	54,182	119,907	15,234	11,699	240,040
山城	乙訓	京福町	13,027	13,533	37,574	4,808	3,909	73,150	42,088	47,143	123,994	15,741	12,624	241,580
山城	山城北	久御山町	26,367	27,883	76,590	9,761	7,909	148,810	44,372	48,921	130,341	16,548	13,300	253,490
山城	山城北	井手町	11,771	14,804	35,443	4,502	3,530	70,050	14,124	18,673	42,960	5,457	4,235	85,450
山城	山城北	宇治田原町	12,856	14,372	37,859	4,807	3,856	73,750	11,179	12,695	33,012	4,192	3,353	64,430
山城	山城南	安曇町	3,517	3,517	10,161	1,290	1,055	19,540	2,972	2,972	8,585	1,090	892	16,510
山城	山城南	和束町	9,304	14,864	29,513	3,751	2,789	60,220	7,706	11,244	29,938	3,042	2,310	48,240
山城	山城南	精華町	11,493	11,493	33,202	4,214	3,448	63,850	14,258	14,258	41,189	5,228	4,277	79,210
山城	山城南	南山城村	4,014	4,014	11,596	1,472	1,204	22,300	2,968	2,968	8,575	1,088	890	16,490
南丹	南丹	京丹波町	5,764	5,764	16,650	2,113	1,729	32,020	2,005	2,005	5,793	735	602	11,140
丹後	丹後	伊根町	41	41	120	15	12	230	0	0	0	0	0	0
丹後	丹後	与謝町	1,046	1,046	3,021	383	314	5,810	0	0	0	0	0	0
京都市			2,690,344	3,463,162	8,138,372	1,033,727	806,745	16,132,350	209,842	338,224	667,056	84,794	62,893	1,362,810
山城広域振興局計			772,258	928,945	2,305,228	292,745	231,605	4,530,780	1,080,455	1,314,473	3,232,224	410,480	324,028	6,361,660
乙訓 保健所計			201,283	599,697	76,153	60,367	1,177,190	329,293	395,506	982,673	124,791	98,757	1,931,020	
山城北 保健所計			504,637	602,186	1,504,071	191,000	151,346	2,953,240	684,239	833,344	2,047,357	260,007	205,203	4,030,150
山城南 保健所計			66,339	87,062	201,466	25,592	19,892	400,350	66,222	85,624	202,194	25,682	20,068	400,490
南丹広域振興局計			122,961	132,059	359,533	45,642	36,884	697,080	111,980	123,605	329,007	41,770	33,589	639,950
南丹 保健所計			122,961	132,059	359,533	45,642	36,884	697,080	111,980	123,605	329,007	41,770	33,589	639,950
中丹広域振興局計			12,856	12,856	37,138	4,714	3,857	71,420	2,675	2,675	7,727	981	802	14,860
中丹西 保健所計			3,631	3,631	10,488	1,331	1,089	20,170	835	835	2,413	306	251	4,640
中丹東 保健所計			9,225	9,225	26,650	3,383	2,768	51,250	1,840	1,840	5,314	675	552	10,220
丹後広域振興局計			2,592	2,592	7,488	950	778	14,400	0	0	0	0	0	0
丹後 保健所計			2,592	2,592	7,488	950	778	14,400	0	0	0	0	0	0
京都府計			3,599,543	4,539,661	10,844,236	1,377,332	1,079,428	21,440,200	1,404,109	1,778,135	4,233,580	537,716	421,060	8,374,600

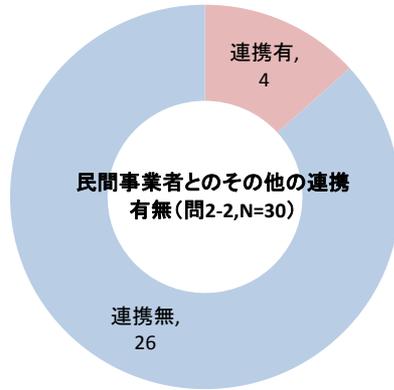
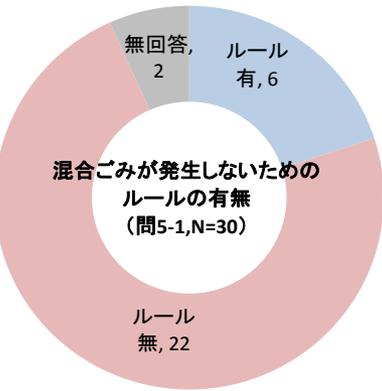
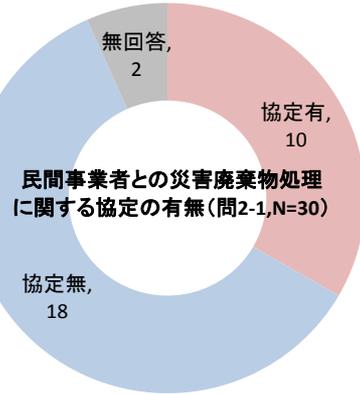
有馬-高槻断層

振興局区分	保健所区分	市町村名	災害廃棄物の組成別発生量(t)					災害廃棄物の組成別発生量(t)						
			可燃物	不燃物	コンクリートから	金属	柱角材	合計	可燃物	不燃物	コンクリートから	金属	柱角材	合計
京都市	京都市	京都市	2,690,344	3,463,162	8,138,372	1,033,727	806,745	16,132,350	209,842	338,224	667,056	84,794	62,893	1,362,810
中丹	中丹西	福知山市	3,631	3,631	10,488	1,331	1,089	20,170	835	835	2,413	306	251	4,640
中丹	中丹東	舞鶴市	5,508	5,508	15,912	2,020	1,652	30,600	1,046	1,046	3,021	393	314	5,810
中丹	中丹東	綾部市	3,717	3,717	10,738	1,363	1,115	20,850	794	794	2,293	291	238	4,410
山城	山城北	宇治市	241,873	285,846	719,584	91,376	72,541	1,411,220	251,177	297,678	747,661	94,942	75,332	1,466,790
丹後	丹後	宮津市	1,211	1,211	3,500	444	363	6,730	0	0	0	0	0	0
南丹	南丹	亀岡市	79,338	88,436	233,511	29,647	23,797	454,730	90,830	102,455	267,907	34,015	27,244	522,450
南丹	山城北	城陽市	99,370	123,125	298,327	37,889	29,800	598,510	144,560	175,897	432,468	54,922	43,353	851,200
山城	乙訓	向日市	90,080	103,727	266,700	33,864	27,018	521,390	101,100	117,274	299,733	38,059	30,323	586,490
山城	乙訓	長岡京市	98,175	122,436	295,116	37,481	29,441	582,650	186,105	231,089	558,956	70,990	55,811	1,102,950
山城	山城北	八幡市	60,059	66,124	178,379	22,393	18,015	342,970	139,813	178,227	422,110	53,614	41,926	835,690
山城	山城北	京田辺市	52,341	70,031	159,591	20,274	15,694	317,930	79,015	101,254	238,805	30,332	23,684	473,100
丹後	丹後	京丹波市	293	293	848	108	88	1,630	0	0	0	0	0	0
南丹	南丹	南丹市	37,859	37,859	109,372	13,882	11,358	210,330	19,145	19,145	55,307	7,020	5,743	106,360
山城	山城北	本蓮川市	116,995	53,174	116,995	14,865	11,396	234,440	39,019	54,182	119,907	15,234	11,699	240,040
山城	乙訓	京福町	13,027	13,533	37,574	4,808	3,909	73,150	42,088	47,143	123,994	15,741	12,624	241,580
山城	山城北	久御山町	26,367	27,883	76,590	9,761	7,909	148,810	44,372	48,921	130,341	16,548	13,300	253,490
山城	山城北	井手町	11,771	14,804	35,443	4,502	3,530	70,050	14,124	18,673	42,960	5,457	4,235	85,450
山城	山城北	宇治田原町	12,856	14,372	37,859	4,807	3,856	73,750	11,179	12,695	33,012	4,192	3,353	64,430
山城	山城南	安曇町	3,517	3,517	10,161	1,290	1,055	19,540	2,972	2,972	8,585	1,090	892	16,510
山城	山城南	和束町	9,304	14,864	29,513	3,751	2,789	60,220	7,706	11,244	29,938	3,042	2,310	48,240
山城	山城南	精華町	11,493	11,493	33,202	4,214	3,448	63,850	14,258	14,258	41,189	5,228	4,277	79,210
山城	山城南	南山城村	4,014	4,014	11,596	1,472	1,204	22,300	2,968	2,968	8,575	1,088	890	16,490
南丹	南丹	京丹波町	5,764	5,764	16,650	2,113	1,729	32,020	2,005	2,005	5,793	735	602	11,140
丹後	丹後	伊根町	41	41	120	15	12	230	0	0	0	0	0	0
丹後	丹後	与謝町	1,046	1,046	3,021	383	314	5,810	0	0	0	0	0	0
京都市			2,690,344	3,463,162	8,138,372	1,033,727	806,745	16,132,350	209,842	338,224	667,056	84,794	62,893	1,362,810
山城広域振興局計														

廃棄物処理施設の防災対策

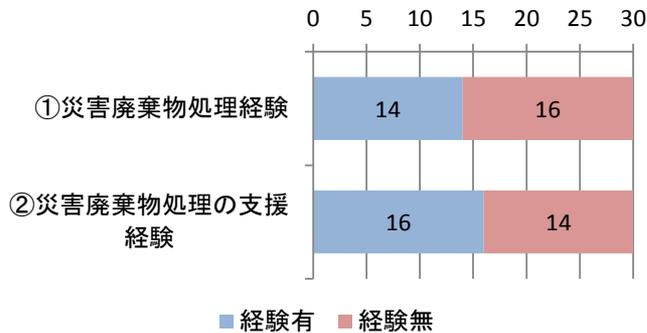
調査対象アンケート

自治体	26
一部事務組合	8
焼却施設	17
し尿処理施設	10



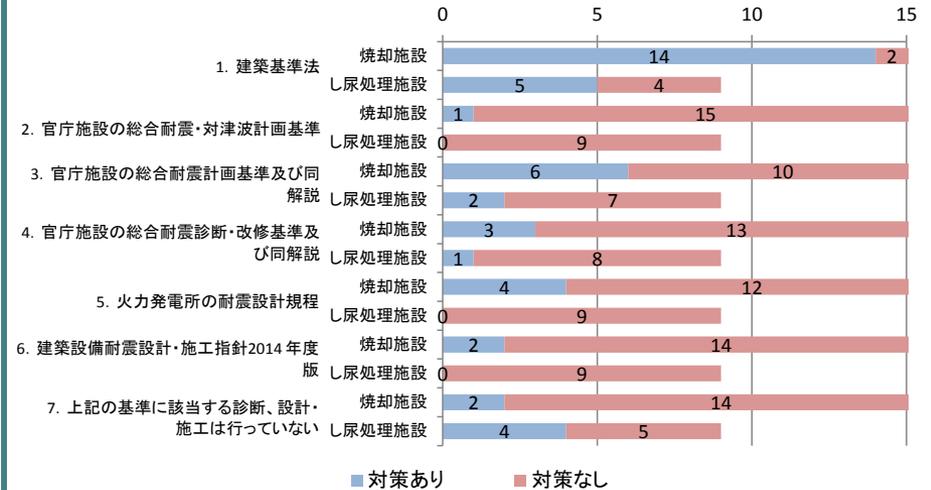
- 協定、民間事業者との連携等、災害廃棄物全般に関するアンケートでは、全体的に「無」との回答割合が多かった。

災害廃棄物の処理経験(問4-2、N=30) (件)

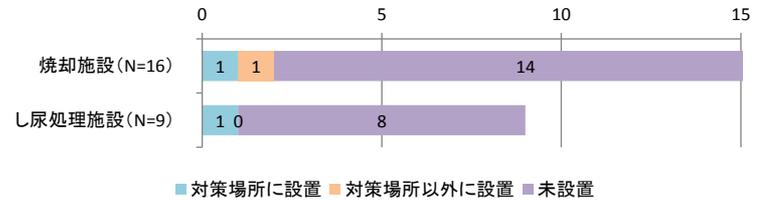


- 施設の耐震性・耐浪性、耐水性などは対策をしていない施設が多く、施設ごとに対策を進めることが望ましい。
- 施設の災害対策の状況は、燃料保管設備の設置や薬剤の備蓄は対策済みの施設が比較的多く、被災時の施設復旧方法の検討などを進めている施設もあり、今後も必要に応じて施設ごとに対策を進めることが望ましい。

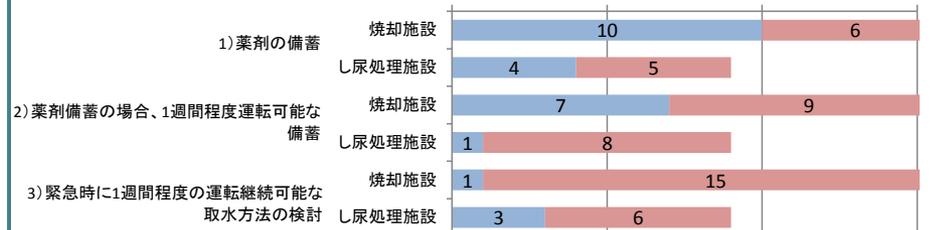
耐震性・耐浪性対策の実施状況(問2、焼却施設N=16,し尿処理施設N=9)



始動用電源の設置場所(問4 2))



薬剤等の備蓄の状況(問6、焼却施設N=16,し尿処理施設N=9)



事業結果の概要（計画策定：豊中市・伊丹市・豊中市伊丹市クリーンランド）

豊中市・伊丹市・豊中市伊丹市クリーンランドで「災害時対応三者担当者会議」を平成28年に設置し、平成30年度に災害廃棄物処理計画を策定予定。

モデル事業の対象

- 発生量（災害廃棄物・し尿）
- 仮置场面積
- 仮置場のレイアウト
- クリーンランド等の被災に伴う影響の把握

被害想定

対象とする地震

- ・上町断層帯地震
- ・有馬・高槻断層帯地震
- ・六甲・淡路断層帯地震（伊丹市）

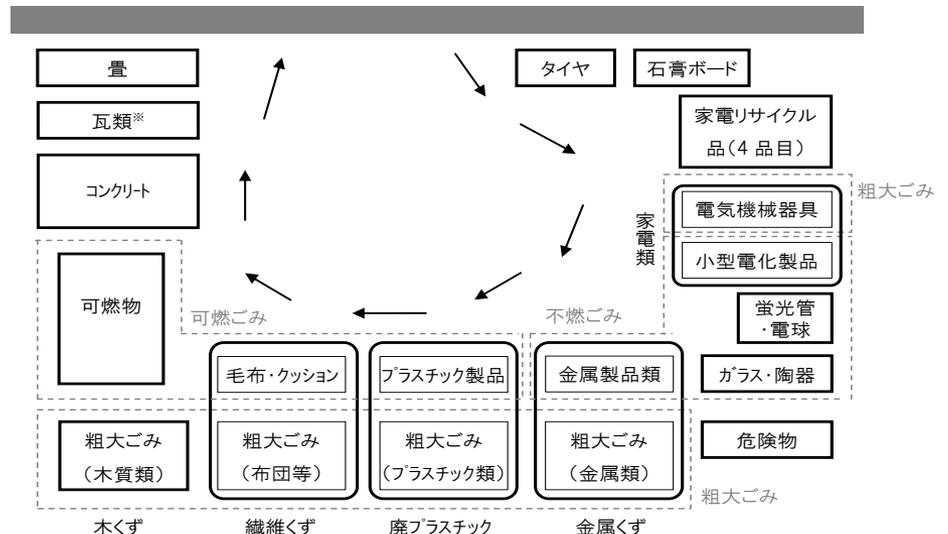
災害廃棄物及びし尿発生量の推定

- し尿発生量
 - ・上町断層帯：203,309L/日
 - ・有馬-高槻断層帯：223,111L/日
- 災害廃棄物発生量
 - ・上町断層帯：245.2万トン
 - ・有馬-高槻断層帯：203.3万トン
 - ・六甲・淡路断層帯：328.6万トン（伊丹市）

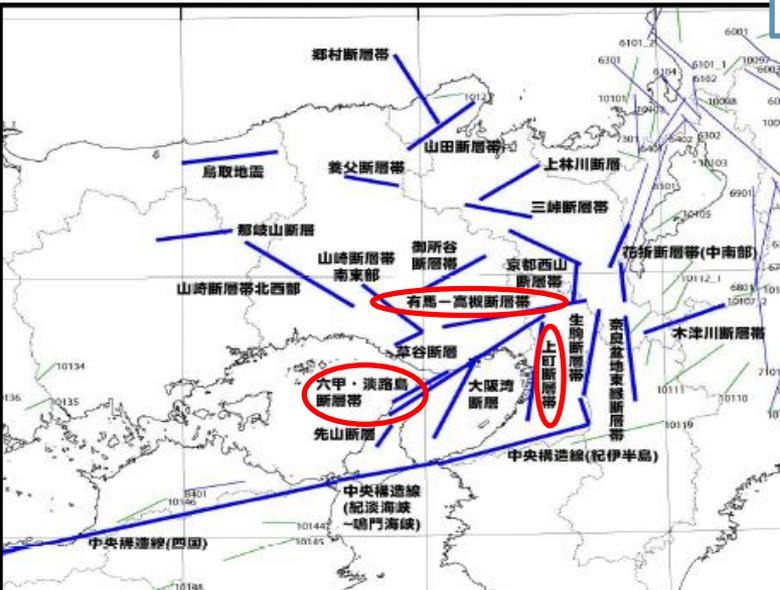
仮置場の面積の試算

豊中市：一次仮置場で最大57ha、二次仮置場で最大53ha
 伊丹市：一次仮置場で最大108ha、二次仮置場で最大103ha

仮置場のレイアウト案



豊中市伊丹市クリーンランド



出典：兵庫県地域防災計画 地震災害対策計画（平成28年修正、兵庫県防災会議）

豊中市伊丹市クリーンランド等の被災に伴う影響の把握

- 豊中市伊丹市クリーンランド等の被災に伴う影響について検討した結果、仮に、平時の収集運搬台数の余力が少なく、積載量2トンの車両で1日4往復したと仮定した場合のごみ収集車両の必要台数は、最も多い場合に豊中市で261台/日、伊丹市で226台/日である。また、積載量2KLの車両で1日4往復したと仮定した場合のし尿収集車両の必要台数は、最も多い場合に豊中市で9台/日、伊丹市で34台/日である。
- 木くず発生量と可燃物発生量を焼却施設の処理可能量と比較 → 処理可能量が大幅に不足
- 片づけごみ発生量を破砕選別施設の処理可能量と比較 → 処理可能量が不足

収集運搬車両

ごみ収集車両の必要台数

	上町断層帯地震		有馬・高槻断層帯地震		六甲・淡路断層帯地震	
	片づけごみ (t/日)	収集車両※ (台)	片づけごみ (t/日)	収集車両※ (台)	片づけごみ (t/日)	収集車両※ (台)
豊中市	2,091	261	1,079	135	-	-
伊丹市	1,811	226	1,757	220	1,318	165
計	3,902	488	2,836	354	1,318	165

※積載量2tで4往復して30日で収集運搬すると設定

し尿収集車両の必要台数

	上町断層帯地震		有馬・高槻断層帯地震		六甲・淡路断層帯地震	
	し尿発生量 (KL/日)	収集車両※ (台)	し尿発生量 (L/日)	収集車両※ (台)	し尿発生量 (L/日)	収集車両※ (台)
豊中市	70	9	32	4	-	-
伊丹市	124	16	187	23	272	34
計	194	24	219	27	272	34

※積載量2KLで4往復すると設定

- 木くず発生量と可燃物発生量を焼却施設の処理可能量と比較した結果、いずれの方法においても処理可能量が大幅に不足することから、府県や地域ブロック単位での連携や調整が必要となる。
- 片づけごみ発生量を破砕選別施設の処理可能量と比較した結果、処理可能量が不足することから、ごみの発生状況に応じて、仮設の破砕選別施設を設置して対応することも念頭に置く必要がある。

焼却施設

木くず発生量と処理可能量の比較

	木くず発生量(内閣府が示す方法)			焼却施設の処理可能量	
	上町断層帯 地震	有馬・高槻断 層帯地震	六甲・淡路断 層帯地震	高位シナリオ (t/3年)	稼働状況を反 映(t/3年)
豊中市	404,441	100,212	-	85,320	12,825
伊丹市	187,924	356,086	656,974		
計	592,365	456,298	656,974		

可燃物発生量と処理可能量の比較

	可燃物発生量(環境省が示す方法)			焼却施設の処理可能量	
	上町断層帯 地震	有馬・高槻断 層帯地震	六甲・淡路断 層帯地震	高位シナリオ (t/3年)	稼働状況を反 映(t/3年)
豊中市	396,963	132,117	-	85,320	12,825
伊丹市	238,197	399,054	645,144		
計	635,160	531,171	645,144		

破砕選別施設

片づけごみ発生量と処理可能量の比較

	片づけごみ(t)			破砕選別施設の処理可能量	
	上町断層帯 地震	有馬・高槻断 層帯地震	六甲・淡路断 層帯地震	高位シナリオ (t/3年)	稼働状況を反 映(t/3年)
豊中市	92,156	22,512	-	11,849	25,415
伊丹市	41,345	76,802	133,147		
計	133,501	99,314	133,147		